

雇用調整助成金の特例措置9月末で期限切れ。失業者を出さないために期間の延長を!

フェニックス PHOENIX

＜発行者＞
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会 03-3742-3251
http://www.kohkuren.org/

新型コロナ長期化に備えた対策急務

生活や雇用守る対策強化を

IATA予想 回復は2024年

新型コロナウイルスの感染が再び増加傾向をみせており、影響の長期化が懸念されます。大手2社の9月の運航計画は、国際線は約9割減、国内線は3割から4割減が予想されています。雇用維持のための雇用調整助成金の特例措置の期限は9月30日まで。雇用や暮らし、航空ネットワークを守るためには期間の延長など更なる公的支援の拡充が求められます。

大手2社の2020年度第1四半期決算(4-6月)は、新型コロナによる渡航制限や外出自粛によって大幅に落ち込みました(表参照)。全日空は減収の46%にあたる51億円の費用を削減しました。現金・預金は94.3億円、コメントライン(今後の資金調達)2000億円を確保し、流動比率は12.9%(20年3月期は14.6・7%)。両社ともに



閑散とする羽田空港国内線出発ロビー。8月20日

今年度の業績見通しや事業計画は明らかになっていません。

大手2社第1四半期決算(4-6月)比較 単位:億円

ANA		JAL	
19年度	20年度	20年度	19年度
5005	1216	763	3488
4843	2806	2058	3309
161	▲1590	▲1295	179
170	▲1565		212
114	▲1088	▲937	129

※JALの20年度営業損益はEBIT(法人税所税前損益)

新型コロナと航空

ANAグループ片野坂COOは社員向けにメッセージで、今後の回復見通しについて「治療法やワクチンの開発・実用化は早く来年春以降との見方を踏まえ、航空事業の需要が新型コロナ以前の水準に戻る時期を、国内線事業は22年度末、国際線事業は23年度末」との見通しを述べた上で、「大幅な減少に合わせ、生産体制を小さく構築し、運航変動費や人件費などの固定費の削減を図る」としています。オンライン会議の浸透や非接触型の高まりなど、質的变化の影響を見極める必要も述べています。

■主な記事から■

- ▶ エミレーツ航空解雇争議、2名の職場復帰を確認。争議の全面解決を協議へ... 2面
- ▶ JGS、雇調金活用し有期社員の減額補償... 2面
- ▶ KLM雇止め撤回裁判、「無期転換逃れは違法」との学者の意見書準備... 2面
- ▶ JAL争議一四国4県キャラバン実施。多くの励ましの声に決意新たに... 3面
- ▶ 10月からCA対象に疲労レポートの情報収集始まる... 3面
- ▶ コロナ禍により鹿児島空港「空の安全を語る会」は中止... 4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail:honbu@kohkuren.org

日本航空は、国際線では21年3月末に40%強から50%強まで回復。国内線では3月末には70%強から90%程度まで回復。旅客事業収入は船比55%減と予想されています。航空運は、新型コロナウィルスの感染拡大を受け、政府には事業者支援の強化、各社は公的支援の活用を訴えましました。雇用調整助成金の活用については、日本航空は在宅での勤務に留まっています。全日空は休業(時休含む)に伴う雇調金の活用も進めています。第1四半期決算によると、雇用調整助成金は7億7800万円でした。悪化する業績の改善にも役立つことから積極的に活用すべきです。報道によると、雇調金の申請件数は79万件(6月13日時点)を超え、支給決定額は7400億円(8月7日時点)です。米国では雇用や賃金を確保するCARES法(コロナ支援・救済・経済保障法)が9月30日で期限が切れになるほか

航空連・東京南部法律事務所共催
無料法律相談のご案内
9月28日(月) 13:00~15:00
東京南部法律事務所
JR蒲田駅東口徒歩2分
対象者:航空労働者
相談時間:1人30分
相談は弁護士が個別に対応します。

新型コロナで休業したが手当が出ない? 公的支援ってなに? どんな支援が受けられるの?

相談手段
前日までに電話もしくはe-mailにて申し込みください。
申し込み先:航空労組連絡会
電話:03-3742-3251
e-mail:honbu@kohkuren.org

人口減少が進む日本で、少子化対策が毎年のように叫ばれていますが、思うような成果に結びついていません。総務省によると、日本人の人口は今年1月1日時点で前年より約50万人少なくなりました。2009年をピークに11年連続で減少し、1億2427万1千人。出生者数は約86万6千人と79年度以降で最小。逆に死亡者は約137万8千人と最多でした。東京都、神奈川県、沖縄県の3都県が増加した方、残る44道府県は減少したとのこと。減少数は愛媛県松山市(約5万9千人)の人口に匹敵。この市が1年間で消滅、想像しただけでどうとします。厚生労働省は「地方創生人口減少克服に向けた対策」で、「正社員現預金加速プロジェクト」の推進を取り組んでいますが、総務省によると、雇用者579万人のうち非正規労働者は2036万人に上ります。実態は加速どころか減速し増加。コロナ禍で雇用不安も増大。先日発表された第4四半期(4-6月)のGDPは戦後最悪のマイナス成長。新型コロナが消費を直撃したことが主な原因。政府は感染拡大防止と経済回復の両立を目指し対策を進めますが、足元では再び感染が拡大。コロナ禍を経験したからこそ、生活目標のセーフティネットの強化を。

誘導路
む日本で、少子化対策が毎年のように叫ばれていますが、思うような成果に結びついていません。総務省によると、日本人の人口は今年1月1日時点で前年より約50万人少なくなりました。2009年をピークに11年連続で減少し、1億2427万1千人。出生者数は約86万6千人と79年度以降で最小。逆に死亡者は約137万8千人と最多でした。東京都、神奈川県、沖縄県の3都県が増加した方、残る44道府県は減少したとのこと。減少数は愛媛県松山市(約5万9千人)の人口に匹敵。この市が1年間で消滅、想像しただけでどうとします。厚生労働省は「地方創生人口減少克服に向けた対策」で、「正社員現預金加速プロジェクト」の推進を取り組んでいますが、総務省によると、雇用者579万人のうち非正規労働者は2036万人に上ります。実態は加速どころか減速し増加。コロナ禍で雇用不安も増大。先日発表された第4四半期(4-6月)のGDPは戦後最悪のマイナス成長。新型コロナが消費を直撃したことが主な原因。政府は感染拡大防止と経済回復の両立を目指し対策を進めますが、足元では再び感染が拡大。コロナ禍を経験したからこそ、生活目標のセーフティネットの強化を。



JAL便のハンドリングを行うJGS社員

JGS、雇調金活用し 有期社員 減額100%補償

有期社員459名に朗報

「雇用調整助成金制度を適用し、正社員、シニア・インフラ契約社員、パートナースタッフ（有期社員）への休業補償や賃金減額を回避するための措置を講じる」と、JGS労組、JGS大

「雇用調整助成金制度を適用し、正社員、シニア・インフラ契約社員、パートナースタッフ（有期社員）への休業補償や賃金減額を回避するための措置を講じる」と、JGS労組、JGS大

労組の要求が実現

申請要件を満たした助成金が活用できることを前提に、コロナ影響前の平均賃金を100%として賃金減額分を補償する」と回答しました。全国の基幹空港で働くパートナースタッフは459名に上ります。安藤JGS労組書記長（GHU事務局長兼務）は、「雇調金の活用は、4月3日にGHU統一要求として提出したもので、その後団体交渉でも会社に申し入れてきた。今回の回答は、厳しい生活を送らざるを得ない状況に、雇用調整助成金の活用については、JGA

2名の職場復帰を確認

エミレーツ航空解雇争議

職場は西日本支店

復帰の諸条件詰めめの協議



勝利命令を求め中労委前での宣伝。昨年8月

争議の全面解決に向け協議

KLM雇止め撤回裁判

無期転換逃れの雇止め違法

JCU 学者の意見書を準備

【報告】

解雇された組合員3名の職場復帰をめざすスカイネットワーク・エミレーツ航空分会。3月に1名が職場復帰を果たし、残る2名の職場復帰に向けた交渉が続けられてきました。7月下旬に行われた協議が行われました。

エミレーツ航空分会によると、7月27日の開催されたオンラインの団体交渉で、会社が復職職場として提示した「西日本支店（大阪市内）」について、当該を名が了解しました。復職に向けた具体的な日程や条件は今後の団体交渉で詰めていくことになりました。団体交渉では、争議の全面解決に向けた協議も行われました。

争議の全面解決に向けては、争議の全面解決に向けた協議も行われました。争議の全面解決に向けては、争議の全面解決に向けた協議も行われました。

1回のペースが続けられましたが、エミレーツ航空分会は「2名の職場復帰を労使が確認できた」と歓迎しています。

また、争議の全面解決に向けては、争議の全面解決に向けた協議も行われました。争議の全面解決に向けては、争議の全面解決に向けた協議も行われました。

争議の全面解決に向けては、争議の全面解決に向けた協議も行われました。争議の全面解決に向けては、争議の全面解決に向けた協議も行われました。



東京地評争議支援総行動で取り組まれたKLM日本支店前行動。昨年9月、東京赤坂

多くの皆さまのご支援をいただき感謝申し上げます。JCU執行委員会。

多くの皆さまのご支援をいただき感謝申し上げます。JCU執行委員会。

支援の取り組み四国・神奈川で

猛暑に負けず四国キャラバン

8・22フォーラムに118名参加

JAL解雇争議

新型コロナウイルス感染症拡大で延期されていた「四国キャラバン」は、JAL争議の早期解決を求め8月17日から20日の間、四国4県で取り組まれました。キャラバンは、JAL争議を支える会と最前線に立ち上がり、JAL団体から「JAL闘争支援・最前線全国キャラバン四国実行委員会」を立ち上げ実施されました。争議団から客乗原告の林さん、大池さんが、パイロット原告から藤原さんが参加しました。



JR徳島駅前での宣伝を終えて。8月17日。

四国キャラバンは7年ぶりです。17日午前10時に徳島市内のJR徳島駅前での宣伝行動からスタート。18日香川県高松市、19日は高知市、20日は松山市でそれぞれ宣伝と学習会が開催されました。キャラバンでは4県の労働局要請でも取り組まれました。

キャラバン2日目の15日に高知県四万十市で39・8度の最高気温が記録されたのは連日強い日差しが照りつけたためです。「アスファルトの熱で靴が溶けそうなほどの酷暑でした」と林さん。コロナ禍の宣伝は、主に配布は飛せず、主に

マイク宣伝と横断幕の訴えが中心となりました。横断幕のメッセージは、猛暑のなかでも通行人の関心を集めました。4県の労働局要請では、応じた各担当者は争議解決を求める訴えと要請があったことを本省に伝えると答えました。各地で開催した学習会には延べ150名が参加し、JAL争議の経緯や2裁判判決などをまとめたDVDを鑑賞し、争議支援と早期解決に向けた決意を確認しました。猛暑の中、各地で取り組みに参加されたみなさん、ご支援ありがとうございました。

8月22日、JAL争議支援がなわ連絡会（略称：かながわ連絡会）結成1周年の「8・22フォーラム」が横浜市内で開催されました。フォーラムでは、2氏の講演と報告、争議解決を展望するパネルディスカッションが行われ、参加者全員でフォーラムアピールを拍手で採択し、JAL争議の早期解決への決意を確認しました。フォーラムには118名が参加しました。

「新型コロナウイルス禍の新たな社会情勢、JAL争議の今日的意義」と題し、毎

早期解決を迫る

9.22羽田空港アピール

日時：9月22日（火）12時～13時
集合：第1ターミナル1階
8番バス停前

特別協議開始から2年4ヶ月、特別協議は14回を重ねました。現在、両組合に提案されているのは、「地上職を希望する人には職場を探す」という事です。それだけでは全面解決になりません。JALは、憲法28条違反の解雇争議を解決し未曾有のコロナ禍を乗り越えよう!!

日新聞編集委員の東海林智氏（元JAL国民支援共闘共同代表）が講演。「働き方改革を進められたい柔軟な雇用の矛盾が、コロナ禍で一挙に噴き出した。労働者として扱われたい労働者が蔓延し簡単に解雇されていく状況の中で、10年にわたる闘いで、10年にわたる闘いで、多くの労働者・労働組合を励まし、価値あるものとなる」と強調しました。

次に講演した今村幸次郎弁護士（JAL争議弁護団）は「JAL争議の題し報告と今後の展望」と題し、「JALは、ILOフォアアップ見解報告、ILOとオリパラとのパートナーシップ協定締結、そして不当労働行為に基づく責任から、国際労働基準に沿った解決を図らなければならない」「10年間の信念・団結・広範な支援の力を更に集中させて闘おう」と訴えました。パネ



イメージ。写真と本文は関係ありません

客室乗務員の疲労リスク管理 10月から疲労レポート情報収集

FRMを機能させ 課題解決の機会に

疲労リスク管理（FRM）は、疲労がヒューマンエラーの要因に關係していることから、疲労を管理し安全性を高めることを目的として国際民間航空機関（ICAO）規定に盛り込まれ、世界的に取り組みられています。日本では2017年10月からパイロットに今年4月には客室乗務員に導入されました。導入にあたっては国交省の指針や審査要領が改正され、安全管理システムに客室乗務員の疲労リスクを追加することや、「疲労により乗務に支障あると自覚した場合乗務してはならないこと」等が定められました。

現在、10月から開始される「疲労レポート」による情報収集に向けて各社で教育が行われていいます。教育では、疲労リスク管理導入の経緯、疲労解消には良質な睡眠が不可欠であること、疲労に影響を及ぼす要素として睡眠不足、長時間労働、サーカディアンリズム、ワークロードがあること等が示されており、加えて仮眠の効果やカフェイン・適度な運動の活用をあげ、良質な睡眠をとるためのアドバイスがされています。疲労レポートの詳細は今後周知される予定ですが、提出基準は、①疲労による乗務不具合、または乗務中断した場合、②疲労がヒューマンエラーなどの不安全事象が発生した場合、③自身または他者の疲労を極めて増大させる要素に気づいた場合、となつていいます。提出されたレポートの情報は要因分析や対応策に活用し、個人名特定や不利益処分もなとされています。

しかし、真の意味でFRMを機能させ情報収集をするためには、自由な

自由な意見確保 労組の役割重要

ものが言える環境が不可欠で、恣意的な評価が可能な評価制度や、選抜型の昇格制度なども障害となるでしょう。客室乗務員は並外して工夫しながら良質な睡眠を確保しようと努力しており、それでも時差や長時間勤務、連続する早朝深夜勤務によって蓄積した疲労や睡眠負債解消が充分できていない状況にあります。現場の実態把握が重要ですが、教育では睡眠確保が自己責任とされるような内容や、明らかに十分睡眠時間が確保できない勤務パターン等、勤務体系の課題には触れられていません。こうした実態の指摘や、自由闊達に意見を言う環境が確保されているのかは、労働組合の果たす役割が重要になります。客乗連では、これまで睡眠調査を実施してきており、今後は睡眠の質の分析を進める予定です。

4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、特に国際線では大幅な運休、減便が続いています。乗務頻度が減り乗客も減少していることから期待していたことが実現しませんでした。こうした経験をしたことから、勤務・乗務時間制限、編成数、休養時間や休日数の改善等々、抜本的な勤務改善に取り組みべきではないでしょうか。疲労の解消を働く側にも求められ、企業や行政にも真摯に取り組む姿勢を求めたいものです。

安全会議だより 135

支部 鹿兒島 楽しみだった黒豚丸焼き 「空の安全を語る会」は中止

航空安全推進連絡会議 鹿兒島支部では、毎年8月に鹿兒島空港勤務者を対象に「空の安全を語る



昨年の「安全を語る会」でのBBQ

会となったっており、空港で働く人々の間では「黒豚BBQ」として知られています。今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界的に深刻化し、鹿兒島県においていた鹿兒島団体の本年度開催の見送りが決定したほか、7月には鹿兒島市内で100人を超えるクラスタ発生が確認された。鹿兒島支部では、こうした状況を踏まえ、今夏の開催を見送るとともに、

「空の安全を語る会」(通称：黒豚BBQ)は、鹿兒島空港で働く航空安全会議加盟労組の組合員が職場の枠を超えて交流することを目的として企画されたものでした。昨年時点で21回の開催となりました。近年は、鹿兒島空港のクラドハンドリング等を担当する南国交通、スカイマーク、海上保安庁、使用事業など幅広く参加したとき、鹿兒島空港へ入る人々にとっての恒例行事となっていました。また、開催にあわせ航空安全会議本部や他支部をはじめ、県外からも家族で参加いただくほど知名度もあがってまいりました。この会自体は年1回の開催ですが、鹿兒島の名産のひとつでもある黒豚を囲みながら、和やかな雰囲気の中で交わされる職場間の交流を通じ、意見や情報を交換する土台ができました。そうして始まった交流により、各自がお互いの職場を理解し日々の業務に活かして航空の安全に寄与することができれば、開催者として幸いに思います。

来期は、新型コロナウイルスの状況を見極めつつ、「新しい生活様式」などの感染防止対策を取り入れられるとともに、鹿兒島空港で働くものの恒例行事の再開を模索して参ります。

「国際キャビンクルーデー」取り組みその3 台湾のCA感染防止策



新型コロナウイルス感染リスク軽減のため、台湾の客室乗務員は4月から「完全防備」で仕事

日本における新型コロナウイルス感染症問題は、5月26日に緊急事態宣言が解除された後再び増加

ITFニュース

に転じ、現在では全国的に拡大の一途をたどっている状態です。今回新型コロナウイルスの抑え込みが成功している台湾での客室乗務員の感染防止策に焦点をあてて報告します。

航空運は、5月22日に行った記者会見の中で、感染のリスクが高い業種をまとめた資料を示し、客室乗務員が医療従事者以外ではリスクの高い職種に挙げられていること

や、密な状態といえる機内のトイレなど感染リスクの高い場所の掃除、マスクと手袋のみで行い職場から不安の声があがっていることを報告、海外エアラインのガウンやゴーグルなどの保護員を紹介しました。

国交省で行われているに拡大の一途をたどっている状態です。今回新型コロナウイルスの抑え込みが成功している台湾での客室乗務員の感染防止策に焦点をあてて報告します。

7月の長雨から8月に入ったら猛暑が続いています。17日は浜松市で歴代最高気温41.1度を記録しました。また、この日は数か所で41度を記録しました。猛暑の中で観望した。猛暑の中で観望した。猛暑の中で観望した。

7月の長雨から8月に入ったら猛暑が続いています。17日は浜松市で歴代最高気温41.1度を記録しました。また、この日は数か所で41度を記録しました。猛暑の中で観望した。猛暑の中で観望した。猛暑の中で観望した。

鳥類学者、汗と笑いの自然科学エッセイ 鳥類学者だからって、鳥が好きだと思つなよ。

川上 和人 著



読書のススメ

お話です。著者は前文の中で述べています。「生物学の中でも鳥類学は比較的人畜無害な分野である。社会的ニースも小さく就職先も少ない。鳥学会での会員の中で職業的な研究者は1〜2割程度だろ。こうして鳥類学者は希少性が磨かれていくのである。つまり、あまり、儲からない博士さんらしい。儲からないけど、第一章の「鳥類学者には、絶海の孤島がよく似合う」を読み始めると、なじみのない鳥類学の面白い話題が満載です。動物を研究する人たちの「オタクの極み」が楽しめます。

お詫びと訂正

けいぞむ

フエニックス300号4面の「安全会議だより」で「パイロットや管制官」とあったのは「パイロットや航空管制官」の誤りでした。米軍機との低高度での交差に訂正します。4面「ITFニュース」で「新型コロナウイルスを「Covid-19」と名付けては「新型コロナウイルス感染症を「Covid-19」と名付けて」に訂正します。